

研究發表表

京都私立
洛陽幼稚園

吉田ゆか

研究發表と申せば大した事の様ではなはづかしいのですが、我が園で便利だと思つて使用して居りますことを申し上げて皆様方の御批評を頂き度いと存じます。

其の一つは、

豆の代用として油粘土

を用ゆるの便利

幼稚園の手法の一つとして認めらるゝ豆細工は皆様時々課せらるゝことでありませう。

準備として前日より豆を水につけて程よくほどばかさねでなりません。が時としては忘れます。豆によつて硬かつたり、軟かかつたり、尙豆には切

り目があつて竹のさしやうによつて割れて用をなしません、亦竹が幾本も交叉する場合も苦心を要します。それを慮つて考へついたので油粘土を使用することあります。至極便利を感じました。

其の特長といたしましては、

即ち

- 一、大小硬軟が自由に出来ること、
- 一、物によつて色の必要の場合も同様自由なこと、
- 一、仕損じてもムダにならず幾度でもやり直しが出来ること、
- 一、粘土細工にも使用出来ること、

一、保存すれば何回でも使用にたゆること、等まあざつと右の如き特點を認めます。

多くは綠色をつかひますが出來上つたものが大變美しくて子供も興味を有つことが大きいと思ひます。

尙ヒゴの色のものを使ふ場合も配色よくすると最も美しいと思ひます。

こゝにお斷りして置かねばならぬことは全く豆を廢して油粘土のみを使用するといふ意味でないこと云ふことではありません、フレイベル氏の恩物の根本を忘れてはなりません、即ち原始的であり自然にめぐまれたるものを全廢することは私共のゆるされないことでありますから、其の點は御諒解を得て置きたいと存じます。一度御試用なされは如何で御座いますか。

今一つは、

排べ方保姆指導板

とても題して置きませうか、最初幼兒に板を與へて排べ方をなさしむる時『何なりと自由に排べて御覽』では子供も困ると思ひます。始めはやつぱり保姆が模範を示して模倣より順次導かねばならぬと存じます其の場合平面即ち机上でのみに表はすことは一齊に注意せしむることが出來ません、黑板にチョークで畫がくこともおもしろくありません、大勢の子供を個々に指導することも時間をとらわづらわしくあります。

そこで考案しましたものが次のやうなものであります。

一、ボール紙にネルの裏打ちをしたものを恩物の排べ方板に切り抜きます。それを

一、板にネルを張りつけた臺板を作り、それに前の板排べをなさしむるのであります。

ネルとネルとがうまくひつつきますから黑板上に掲げて全兒に指導することが容易であります、

正規の板排べは數も形も色も定められてありますから其の通りに何倍かの大きさに製作いたします、正規のものは色が兩面異なりどちらも使用いたします。

正方形、圓形、半圓形は赤白、其他みどり、橙色、紫、黒等であります。これ等の色はネルには求められませんが表面には色紙を貼り、裏面にネルを貼りつけて片面を使用することにいたします。

以上は板排べに就いて申しましたがこれを、箸環にも應用いたしまして以上三恩物を併用致しますことは作品の範圍が廣くなつて興味深いものであります。

これ等のものは強ちフレノベル氏の恩物に拘泥せずとも變體のものとして取り扱つたらいいと思ひますが、

これは保姆の手に依つて製作することは勿論であります。

指導法の一例

幼兒には普通の板排を配り與へ（箸環等）各自工夫せしめ其の内良好のものを指名して保姆用の板上に表現せしめて全兒に批評せしむる等効果あらんと思ひます。

又遊戯室の一隅にも掲げをきて自由に幼兒に使用せしむるもよろしい。

尙亦卑近な例でありますが目かくしをして多福の顔に目鼻をつける等の如きあそびも觸覺練習の一端どもなり餘興の一つにもなると思ひます。

箸は五段までして置きますと充分長いものが出來てよろしいと思ひます。